

2020年4月2日

春学期授業担当教員各位

SFC 2020年度春学期授業の実施に係る指針

総合政策学部 学部長 土屋大洋
環境情報学部 学部長 脇田玲
政策・メディア研究科 委員長 加藤文俊

2020年4月1日に配信した「新型コロナウイルスに対応した春学期開講科目の授業実施について（新たなお願い）」に対応すべく、SFCにおける授業方法の指針を策定しました。教員各位におかれましては、以下をご参照いただき、研究会を含めたご自身がお持ちの科目に合わせて創意工夫を加えて授業を実施いただきますよう、お願いします。

なお、後半（6月11日以降）については、状況を見極めた上で、後日、基本方針を示します。

0. 前提

シラバスについては、教員がご用意されたものを上書きするかたちで、6月10日まではオンキャンパスの授業を行わない旨を学事より学生に連絡します。教員各位においては、**オンラインで行うことを前提にシラバスをご用意いただいていた場合でも、変更の必要はありません。**

それぞれの授業の具体的な変更点につきましては、SFC-SFSなどを通じて履修（希望）者に適切に連絡をし、オンライン授業を実施してください。

オンライン授業について、これまで、学生が必ずPCとネットワーク接続性を確保できる前提で、教員各位にはオンライン授業の実施をお願いをしてきました。その背景には、学生がキャンパスに登校し、CNSに自分のPCを接続したり、ITCでPCを借りたりすることも含まれていました。しかし、6月10日までは学生のキャンパス登校を原則禁止することになったため、少なくとも春学期前半はこの前提を保証することができなくなりました。教員各位におかれましては、ネットワーク環境の制約でライブ授業の途中で視聴できなくなった学生（**スマートフォンのデザリングなどを自宅のネットワークとして使っており、ダウンロード容量の上限をこえるなどして、履修するすべての授業をオンラインで受講するために十分な環境を用意できない学生**）もいる可能性があることを念頭において授業の方法をご検討いただけるよう、お願いします。

春学期前半の4学期制（クォータ）科目で授業内試験、定期試験を予定されていた場合には、レポート課題などへの切り替えをご検討ください。今期に限っては学期末の定期試験期間中（7月23～31日）に試験を実施することもできます。その場合は試験が受けられない学生の不利益にならないようご配慮ください。春学期前半の4学期制（クォータ）科目で定期試験期間に試験をおこなう場合には学事まで予めご連絡ください。

なお、今後の状況の推移によっては、定期試験期間にキャンパスで試験を実施できない可能性もあります。その場合には、レポート課題など別の成績評価方法への変更をお願いすることになります。

採点票の提出締切は8月10日です。今学期は、**前半科目の提出締切もこの日とします。**

1. オンライン授業（ライブ）

これまでご案内してきたように時間割に定められた曜日時限に遠隔トレーニングシステムや遠隔会議システムを使ってオンラインで行っていただく授業です。Webex Trainingを推奨していますが、Zoomなどの他のツールを使っていただいても結構です。

オンライン授業をおこなう場合は、録画をしたものを学生に示す、スライドや授業ノートを学生に示すなど、ネットワーク環境の制約等によりライブ授業を受けられなかった学生に配慮をしていただけますよう、お願いします。Webex Trainingで録画した授業を学生に示す場合、URLを示してWebex Trainingのクラウドからストリーミング配信する方法とダウンロードさせる方法があります。動画を示す場合は、通信量に配慮し、視聴可能期間を長く取るなどの配慮をお願いします。スライドや授業ノートを学生に示す場合は、SFC-SFSなどをご活用ください。

Webex Trainingの使い方については講習会や資料の提供をおこなっていますので、SFCオンライン授業サポートページ(<https://scrapbox.io/sfc-online/>)をご参照ください。オンライン授業支援サイトは随時更新していきます。

2. オンライン授業（オンデマンド）

学生が教員の定めた期間内の任意の時間にオンライン上に教員が用意した動画を視聴するなどして授業を受講する形態です。以下の方法を適切に組み合わせて実施ください。

採点票提出締切までに成績評価をしていただかなければならないので、履修者に、提供する教材の視聴可能期間、ダウンロード可能期間、提出物の提出期限などを明示してください。

なお、大学設置基準に照らして、1単位あたり45時間^{*}以上の学修を要するようにご配慮ください。

また、配信するだけの一方通行の授業にならないよう、学生との質疑応答等のコミュニケーションの仕組み（SFC-SFSやメール、チャット等）をご用意願います。

^{*}大学設置基準では、1単位の授業は45時間の以上の学修を要する内容と定められています。学修時間には授業時間外の活動時間も含まれています。一般的な2単位の講義科目の学修時間は90時間。うち、授業が占める時間は22.5時間（90分×15回）です。

2.1. 動画配信

教員の説明を録画し、それを配信する方法です。

SFC-SFSは多くの教員が動画をアップロードできるだけのストレージを用意していません。配信には、慶應義塾が契約するBox^{※1}やGoogle Drive^{※2}、湘南藤沢ITCが契約をするDropbox^{※3}などを使ってください。オンライン授業に利用するツール（Webex Training, Zoomなど）の録画機能を使って動画を撮影し、そのURLを学生に示すことも可能です。動画は教授法としては有効な手段ですが、学生のネットワーク環境によっては毎週90分の授業を視聴することが難しいことが想定されます。視聴可能期間を長くするなど配慮をお願いします。

動画を授業内容のセクションごと等に分割して、各動画の時間を短くすると、履修者の利便性が高まります。

※1 Boxについて (https://www.sfc.itc.keio.ac.jp/ja/box_user_manual_about.html)

※2 G Suite (旧 Google Apps) のドライブとは

(https://www.sfc.itc.keio.ac.jp/ja/gmail_user_manual_basic_operation_drive.html)

※3 SFC-CNS Dropbox サービスについて

(https://secure.itc.keio.ac.jp/c/a/sfc/ja/computer_onlinestorage_dropbox_main.html)

2.2. コンテンツの配信

スライドや授業ノートを学生に配信する方法です。

SFC-SFSを用いてスライドや授業ノートを提供してください。スライドの場合は他の方法（動画配信やチャットを用いたコミュニケーションなど）と組み合わせる、別途説明文書をつけるなど、学生が理解できるようにご配慮ください。

2.3. チャットを用いたコミュニケーション

質疑応答などの学生とのコミュニケーションのために、SlackやWebex Teamsのようなテキストベースのツールの併用もご検討願います。

2.4. 課題

十分な授業効果をあげるために、通常の授業より多めに課題を課すことも有効です。その場合、学生に十分な理解を促すために課した課題に対して教員からフィードバックをするよう、心がけてください。

3. 補講

学期中に十分な教育効果をあげられない場合等に、状況によっては定期試験期間後（夏季休業中）に補講を実施できるか検討中です。

参考

● オンライン授業における著作物の取り扱いに関する文化庁のアナウンス

「新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校教育におけるICTを活用した著作物の円滑な利用について」 (<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/92080101.html>)

● 学生へのアナウンス文

学生には、4月2日に、以下のアナウンスが発信されています。

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が深刻化しており、4月30日以降も予断を許さない状況が続くと予想されることを踏まえ、総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科の体育や言語、研究会を含むすべての授業は、授業開始より6週間（6/10、前半クォーター終了まで）、キャンパスでの授業は実施せず、キャンパスに来る必要が無いようにオンライン等で実施することにいたしました。

シラバスに「オンキャンパス」と記されている授業も、6/10まではキャンパスでの授業を行いません。6/10までの授業内容や授業方法については、各授業担当から履修者に対してSFC-SFS等を通じて連絡するよういたします。

● SFCオンライン授業サポートページ (<https://scrapbox.io/sfc-online/>)

● メディアセンター 電子ジャーナル・電子ブック
(<http://libguides.lib.keio.ac.jp/e-resource>)

問い合わせ

本文書に関する問い合わせは、Googleフォーム (<https://forms.gle/hR4aLniiyChVnK8i7>)からお願いします。

学事担当の事務作業量が逼迫していますので、ML等ではなく、こちらのGoogleフォームを利用していただきますよう、よろしくお願いいたします。